

<b>経営管理総論A</b>		<b>講義</b>	<b>教授 小関 広洋</b>	
<b>科目カテゴリー</b>	<b>国際ビジネスコースの専門 選択科目、会計ファイナ ンスコースの専門選択科目、 経営・経済コースの選択必 修科目</b>	<b>科目ナンバリング</b>	<b>23221201</b>	

### 1. 授業のねらい・概要

経営管理論は、組織の管理運営を考える学問分野である。「総論A」では、経営管理論の全体像と、内部組織マネジメント、外部環境のマネジメント、経営戦略、日本の経営などについて、概要を説明する。経営学全般の基本的概念を理解し、各論としての経営組織論、経営戦略論、マーケティング論などの分野をより深く、かつ体系的に理解するための基礎力を養うことを目的とする。

### 2. 授業の進め方

テキストの内容に沿った講義形式を基本としながら、随時、事例研究も行う。また、理解の定着と考え方の向上を図るため、原則として毎回、練習問題（記述式または穴埋め式）を課し、成績評価に反映する。

### 3. 授業計画

1. イントロダクション：経営管理論とは	9. 外部環境と組織間関係のマネジメント
2. 企業と経営管理	10. 経営戦略と経営コントロール
3. 経営管理論の展開	11. 競争戦略
4. 組織のデザインとマネジメント	12. イノベーションのマネジメント
5. モチベーションと組織活性化	13. グローバル経営
6. 経営のリーダーシップ	14. 日本の経営
7. 組織と企業文化	15. まとめ
8. 経営組織の環境変化への適応	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに、前回の授業内容を復習しておくこと。さらに、授業中に指示された事項について、調べておくこと。なお、これらの準備学修には、2時間以上が必要である。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題については、授業の中でポイントを解説する。試験については、実施の際に出題意図を説明する。

### 6. 授業における学修の到達目標

経営管理論の基本的な概念を理解し、企業の活動をこれらの概念を用いて説明し評価できる。

### 7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢（授業中の練習問題への評価を含む）50%、定期試験の成績50%によって評価する。

### 8. テキスト・参考文献

テキストは、上野恭裕/馬場大治（編著2018）『経営管理論』（中央経済社）を使用する。

### 9. 受講上の留意事項

新聞やニュースなどを通じて、日頃から企業に関する情報に関心を持つこと。

### 10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、金融機関およびコンサルティング業務における実務経験を活かして指導する。

#### **11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。